

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年3月21日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105180
法人名	有限会社 ソフィア・インターナショナル
事業所名	グループホーム 山田の里(2ユニット)
所在地	鹿児島県鹿児島市山田町44番地3 (電話) 099-264-0850
自己評価作成日	平成28年3月21日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年3月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者さんの安全に安心して生活を送る事が出来るように、各入居者様のニーズに対応した個別ケアを実践しています。
入居者様の体調管理を行い、異常がある時に早期に対応が出来るように、日常の状態把握や協力機関との医療連携を密に行うようにしています。
入居者様の楽しみや生きがい、やりがいを見出し元気にはつらつと生活を送る事が出来るように対応します。
入居者様の身体機能が低下しないように、体操の工夫や訪問看護師からの指導を受け体操やレクなどに盛り込むようにしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念である「あなたの笑顔が私達の喜びです」に基づき、入居者一人ひとりにスタッフも笑顔を忘れずに、日々、努力している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	入居者様が安心して暮らし続ける為に、開設時から町内会に加入している。地域の方々とも散歩時や朝夕の声かけ、季節の野菜等も頂いたりしている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	グループホームの役割や認知症、介護保険についての説明を行い、いつでも相談に応じられる事をお話ししている。又、ボランティアの受け入れの際は、十分に配慮している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催している。地域包括の他、住民代表の方にも参加して頂き、意見をもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	相談事や意見を聞きたい時には、支所や介護保険課に問い合わせを行い、問題解決を早期に行うようにしている。又、3ヶ月に一回、待機利用報告を行っている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	日常的に徘徊や帰宅願望の強い入居者が居られる時には、安全を期して必要に応じて玄関を施錠するなど行っていたときがあったが、現在は行っていない。職員は身体拘束の弊害について理解を深める為の勉強会を行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的な部分だけでなく、日々の声かけ等でも失礼な物言いになっていないか、職員同士で気を付けて実践している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、権利擁護を活用されている方はいない。成年後見制度の研修会にも参加して、すべての職員にも研修内容を説明している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時契約や解約について書面にて説明を行い同意にて契約の締結を行っている。制度の改定がある場合等も再度説明し、同意を得ている。疑問があった時は随時、入居者様やご家族様と話し合いの場を設けるようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営会議にて家族さん代表による意見や要望の聞き取りや職員会議（全体会議）に投げかけ、問題点や意見をくみ取り、早期に対応が出来るように心がけている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>全体会議にて職員の意見を提案を聞き取り、問題解決に取り組みが出来るようにしている。施設内で解決が出来ない場合には、会社に問題提起を行うようにしている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員個々の働きやすい環境作りや各自が向上心を持ち続けられるように、配慮を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内も学びの場としており、勉強会や研修で得た知識は報告書を作成して回覧し、すべての職員が目を通すようにしている。個々の目標設定に合わせ、常にスキルアップに努めるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地区のグループホームとの交流や勉強会での繋がりも確保し、関連施設での勉強会にも出席しその中から学び得た知識や情報は職員で共有しながら、事業所のサービスに繋げるように取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前、ご本人様やご家族様より身体状況や生活歴、経過シート記載等の情報をいただき、活用しながら職員と他の入居者様と馴染の関係が築けるようにコミュニケーションを図れるような場を設けるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御本人や家族様が困っている事があれば、職員が少しでも心配事をお手伝いさせていただく。常に様子を伝えるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様やご家族様からの主訴を伺い、十分に検討した上でご本人様がベストな環境で生活出来る事を優先し、必要と思われる支援を見極めながらサービスに繋げるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様の思いに寄り添い信頼関係を築き、お互いにコミュニケーションを図りながら、安心して生活出来るよう、努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月一度ご家族にお便りを出す事で近況の報告をしている。又、月の行事なども連絡し、参加をお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の馴染みの方々が気軽に訪問したり、外出したりしている。また、行事等への参加も声かけし、参加して頂いたりしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者さんの生活行動やフロアでの関係性が構築できない場合には、居室の替えを行い入居者さん同志の関係性が上手くいくようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	こちらを退去された入居者様とも交流をもっている。行事への参加の声かけをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員は、ご本人様やご家族様の意向を聞き、これまで生活されていた中でご本人様に合った日々の生活が送れる様、趣味などを取り入れ楽しく過ごせる様努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人や家族から聞いた事を把握し、生活の中で活かせるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様、ご家族様の要望を基に、日々のケアの中での気づきなど、生活リズムを把握するように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様の思い、ご家族様の思いを伺って、介護計画の見直しや施設での暮らしを有意義なものに出来る様努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	朝・夕の申し送りや個別の記録ノート、カンファレンス等で情報を共有し、実践に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人のニーズに対応できるように、医療機関や歯科医療機関・訪問マッサージ・訪問鍼灸など柔軟な支援を行うようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議には地域住民代表のにも参加して頂き地域資源に関する情報や意見を伺っている。季節の野菜の差し入れを頂いた時には、入居者様と関わる時間を設けてくださっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様、ご家族様の希望するかかりつけ医を優先するようにしている。 協力医療機関の主治医は、入居者様の一人一人の心身状態を熟知しており、受診日には個々に優しく向き合って下さっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>業務提携医療機関の看護師が週に一回来られ、個々の状態、薬及び処置等に関わって下さる。緊急時は24時間連絡が取れる体制であり、職員と共有したケアを行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>医療機関での入院や治療がスムーズ出来る様、情報提供をしている。入院中は主治医やご家族様と連絡を取りながら面会に出向き経過を報告し、早期退院が出来る様努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合や終末期については、入居時に、出来る事・出来ない事を説明し「医療連携加算」「看取りに関する指針」を整備して同意を得るようにしている。その時その時に、主治医の意見も含めながら今後の方針についても話し合っている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時、緊急時のマニュアルや連絡網を作成し、各ユニット毎に勉強会を行い、落ち着いて行動する事が出来る様に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、消防署立ち合いで防災訓練を実施している。 また夜間を想定した自主訓練を入居者様も参加し行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の人格を尊重し、入浴や排泄等、好みやプライバシーが守れるよう努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者さん個々の状態、意志決定が出来る有無に応じて、対応を行い、自己決定が困難な場合には、日常生活動作や背景から掴むことが出来るようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の体調や好み、活動に合せ、時間をずらしながらゆっくりと一日を過ごしていただく様、生活支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	2ヶ月に一度、訪問美容に来て頂いている。 衣類に関しても本人・家族の好みを伺いながら支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事する前にメニューを紹介しています。 お祝い事があればスタッフ、入居者様一緒に歌をうたったりしています。(メニューも変わります) 片付けが出来る方は、下膳を手伝っていただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量等は健康管理表に記入し一人ひとりの状況を把握している。食事を思うように摂れない方には、主治医より高カロリーの補助食品を出して貰う事も出来る。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声かけや介助を行っている。夜間は義歯をポリドントに浸けている。又、定期的に訪問歯科も受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄状況やパターンを把握し、個々の認知症状に合わせてパットやリハビリパンツ等使い分けている。排泄パターンに合わせて声かけをし、トイレでの排泄が出来る様に支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、手作りのカスピ海ヨーグルトを提供している。水分摂取量も気に向け、スタッフ間で状況を共有している。又、日常の中で体を動かす時間もとっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は基本的に決まっているが、一人一人の状態に合わせた入浴方法を行っている。入浴を拒否される方は、無理に勧めず時間をずらしたり声かけの工夫をしている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間安眠出来る様、日々の生活のリズムを整え、散歩やリハレクを行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報を綴り、処方箋が新しくなったら申し送り等で職員が誰でも分かるようにしている。自分で服用出来ない方は、介助を行う。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中で、一人一人が出来る範囲で役割を作り、洗濯物を干したり畳んだり、楽しみながら手伝う喜びをサポートしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気が良い時には職員と散歩に出掛けたり、買い物に行ったりする。個別ケアや戸外レクでは遠くまでドライブしながら食事に出かけ、ご家族にも協力していただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族様よりお金を預かり施設で管理している。希望があれば一緒に買い物に出掛けたりしている。ご家族様の了解の下で、少額ではあるが所持している方もいる。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話をしたいとの申し出があった時には、事務所でゆっくりと話ができる様にしている。また、手紙を書きたいとの希望があった時は、便箋等を用意している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者の方が迷わないように、テーブル席等、充分配慮しています。温度・湿度の管理について一人一人衣服でも調整しています。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テレビコーナーには、ソファやテーブルを配置。居間・食堂が一体的な作りになり、中庭には花など植え、又、畳スペースでは洗濯しながら会話をさせている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が気持ち良く生活出来る様に、入居時に本人、家族、スタッフと話し合いながら、馴染のアルバム、寝具、又心の寄り所の仏壇など持って来れるよう工夫している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人一人の理解度や身体の状態を見極め、トイレや居室の入口にも名札や写真、目印を付けて分かりやすくしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
		○	3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない